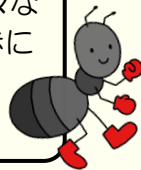


あり組での生活にもすっかり慣れ、行動範囲も広がってきました。ずり這いやハイハイをして気になった玩具を取りに行き、つかんで楽しむ子ども、つかまり立ちや歩行で好きな場所に移動して探索活動を楽しむ子どもなど、保育者に見守られる中で安心して遊びを楽しむ姿が見られます。また園庭や大学の芝生広場にシートを敷き、その上で外の空気を感じながら砂や落ち葉を触って感触を楽しんだり、靴を履いて保育者と一緒に砂場遊びやボール遊びなどをしたり、異年齢の友だちからも様々な刺激を受けて楽しんでいきます。保育者や友だちにかわいい笑顔を向けてくれるようにもなってきました。これからは子どもたちの様々な思いを受け止めながら、安心して園生活を過ごせるようにゆったりと関わっていききたいと思います。

梅雨に入り、雨が降る日が多くなりますが、室内でもトンネルや様々な形のマットを使って身体を動かすことを楽しみ、晴れた日は散歩に出かけ、自然を感じながら草木や花などを見たり触ったりして心を動かして過ごしていききたいと思います。



少し離れた所で泣いている友だちを見つけたAくん。ゆっくり近づいていき、泣いていた友だちに手を伸ばすと優しく頭をなでてあげていました。とてもほほえましい姿が見られ、Aくんの優しい気持ちに心がほっこりしました。

ひよこ組では午前中の活動を3つのグループに分かれて過ごしています。一緒に牛乳を飲んだり、戸外遊びの準備をしたりする中で、子どもたちは少しずつ同じグループの友だちや生活の順番がわかるようになってきました。また、自分のマークが分かり、靴や帽子の出し入れをしたり身の回りのことを自分でしようとする姿も見られるようになってきました。これからは自分でできた喜びや、やってみようとする気持ちを大切に関わっていききたいと思います。衣服や食事用エプロンもできるだけ着脱しやすいものが望ましいです。準備していただく際、ご参照いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

今月は梅雨の晴れ間に戸外遊びを楽しんだり、大学構内へ散歩に出かけたりして、楽しみたいと思います。室内でも七夕飾りの制作やパス画、シール貼りなどじっくりと表現する遊びやマットを使って体を動かす遊びも楽しんでいききたいと思います。



『りんごコロコロ』という手遊びが大好きな子どもたち。保育室で始めると子どもたちもどんどん集まり、「もっかい！」（もう1回）と何度も繰り返し楽しんでいます。「りんご」以外にみかんやぶどう、ピーマンといろいろな果物や野菜が出てくる中で、『キャベツ』は『キャー!』と、声と動きで表現しています。表情もとてもかわいくて、盛り上がります。

りす組になって2ヵ月が経ちました。朝の時間に手遊びをしたり歌をうたったり、みんなで楽しむ時間があります。「はたらくるましてー」「ありさん歌うー！」と『♪はたらくるま』や『♪おつかいありさん』をリクエストして、歌の時間を楽しんでいる子どもたちです。保育室はいつも子どもたちの明るい声でいっぱいです。また、友だちや保育者とやりとりを楽しむ中で、自分の思いを言葉で伝えることも増えてきました。生活の場面では、身の回りのことを「自分でしたい!」と意欲的な姿も見られ、苦手な食材も自分で食べてみようともいたり、着替えを一人でしてみようとする姿も多くありました。子どもたちのやってみようとする気持ちが喜びや自信に繋がるように大切に関わっていききたいと思います。

今月はのりや絵の具、パスを使って七夕制作を楽しみます。表現する楽しさや面白さを一緒に味わいながら七夕飾りを作っていきたいと思っています。また、ピアノの音に合わせて体を動かすリズム遊びや、遊具を使った運動遊びなど、雨の日も室内で楽しい時間を過ごせるようにしたいと思っています。6月は1名の新しい友だちが加わります。



園庭では葉っぱに穴を開けて作った「葉っぱオバケ」を手にとって追いかけて遊ぶのが好きな子どもたち。「おばけだぞ〜」「おいかけて!」と、たくさん体を動かしています。友だち同士の関わりが増えて、子どもたちも友だちと一緒に遊ぶ嬉しさや喜びを感じています。これからは関わりを大切に過ごしていききたいと思います。